

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 2 年 3 月 16 日

事業所番号：1350300347

事業所名：すてつぷわん



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		子どもたちの実態や特性等に合わせ、スペースの使い方を臨機応変に変化させている	引き続き、子どもたちの様子を見ながら安全面に配慮しつつ、活動内容も踏まえて臨機応変に対応していく
	②	職員の配置数は適切であるか	9			引き続き人財育成に努めていく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		テナントビルのオーナーとも相談し、できる限り、配慮が行き届いた環境となるよう資金面も含めて検討していく
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	3	一部の人に負担がかたよりがち	人財育成を行いつつ、全スタッフの底上げを行っていく
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		日頃からの保護者とのコミュニケーションや面談等にも力を入れている	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		9		第三者機関による外部評価を、5年以内には実施できるよう努めていきたい
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		内外の研修のみでなく、書籍等による研鑽も行っている	もっともっと研修・研究の機会を確保していく
適切な支援の提	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			子どもたちのより良い成長・発達を可能にしていくための計画を作成すべく、また、この工程に、どの職員も携われるように、一人ひとりの力量を高めていく
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9			定期的に見直しを図り、バージョンアップを行っていく
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			意見交換をより活発にするためにも職員の絶対数が増えるといい
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		打ち合わせ等で、意見を多くぶつかり合わせている	集団と個別の、それぞれの長一短を踏まえつつ、その中で、どれだけ集団療育だからこその効果を見出しつつ、個の状況にも対応していくか、その手立ても含めて、引き続き研鑽を重ねていく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9		保護者のニーズも確認するように努めている	引き続き、できる限り臨機応変に対応していきたい
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			集団と個別の、それぞれの長一短を踏まえつつ、その中で、どれだけ集団療育だからこその効果を見出しつつ、個の状況にも対応していくか、その手立ても含めて、引き続き研鑽を重ねていく

供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		忌憚なく発言できる雰囲気を用意的に作っている	もっともっと、意見の出し合いが必要
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	9			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	9	このような対象の子どもが、まだ通所してきていない	必要に応じて積極的に連携を取っていく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9		学童施設や公園等では、個人レベルでの交流を図れるよう促している	地域行事等へは積極的に参加しているが、障害のない子どもたちとの関わりは、個別レベルにとどまっているので、今後、組織的に計画的に交流を図っていくよう努めていく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	9			一人でも多くの職員が参加できるように体制を築いていく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		保護者の方の様々な悩み等を共有する機会が増えてきた	事業所が掌握した課題や想い等を、いかに支援につなげていくか、もっともっと議論の場を作っていく
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9		日々の保護者への報告や保護者会、面談等も含めて、ご家庭でも取り組めることを伝える努力をしている	引き続き、様々なサポートや情報提供ができるよう、研修・研鑽を重ねていく
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		対応窓口を明確にしている
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1		保護者からの悩みは、関係性が築かれるほど深刻化してきているので、もっともっと職員の対応力を高めないとけない

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9			学年や年齢別による保護者会や、特性に応じた保護者会など、カテゴリー別に開催し、情報交換等がより活発になるような機会を設けられるよう、保護者のニーズも掌握しながら計画を立てる
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		職員の打ち合わせの場を積極的に活用している	職員の人数が増えても、この迅速さや的確さは継続していく
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		メール配信を行っている	ホームページや紙媒体での発信も検討していく
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	9			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		9	行事そのものを行っていない	地域の方を招くことができるような行事を企画していく
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9		
③⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			保護者や子どもたちについては、一人でも多くの人に参加できるように実施計画を工夫していく
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			継続的な研修等を通して、一人ひとりの自覚を促していく
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9			
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		9	該当する子どもが通所していない	
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			引き続き、事例を集め、研修等で活かしていく

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。